

(株)飯田鉄工 フィリピンの災害廃棄物の迅速処理による早期復興貢献を目指して！ ～伊予銀行連携案件～

この度、独立行政法人国際協力機構（JICA）では、中小企業・SDGs ビジネス支援事業（2023年度公示）の採択案件を公表しました。四国4県からは、株式会社飯田鉄工（高知県高知市、飯田隆雅代表取締役）が提案する「フィリピン国災害廃棄物処理に関する普及・実証・ビジネス化事業」が採択されました。

本調査の対象国であるフィリピンは、その地理的特性から台風や洪水、土砂災害、地震、津波、火山活動に伴う災害など、世界で最も自然災害に見舞われる国の一つです。災害発生後の被災したインフラの早期復旧は同国においても大きな課題となっていますが、未だ人手に頼る復旧作業が多く行われており、早期復興に向けた作業の改善の取り組みが進んでいます。

提案企業である株式会社飯田鉄工は、建設機械（ショベルカー）のアーム先端に取り付けるアタッチメントの開発・設計・製造を行っており、全国の建設会社や産業廃棄物処理業者に製品を提供しています。

今回、提案された「掴み機」と「切断機」は、現地での災害発生時の迅速な人命救助や復旧活動、瓦礫の撤去などの災害廃棄物処理や山間部地域で発生する土砂災害、落石などへの活用が期待されます。



本調査は、フィリピン国内での災害からのインフラ早期普及や災害廃棄物の効率的な処理に貢献できるビジネスの展開に向けて、フィリピン国において同社の建機アタッチメントの検証・普及活動を通じて事業計画を策定するための調査です。

本事業は、「普及・実証・ビジネス化事業（中小企業支援型）」として実施されます。「普及・実証・ビジネス化事業」は、開発途上国の社会課題の解決に貢献し得るビジネスの事業化に向けて、製品/サービス・技術・ノウハウ等の実証活動を含むビジネスモデルの検証、提案製品等への理解の促進、ODA事業での活用可能性の検討等を通じ、事業計画案を策定するものとなります。2023年度は2023年9月に公示を行い、全国で68件が採択されました。今後、契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考：（プレスリリース）2023年度の採択結果について

URL：https://www.jica.go.jp/information/press/2023/1527096_25245.html

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 四国 業務課 松本
TEL 087-821-8834 e-mail：Matsumoto.Yoshihiro@jica.go.jp